

2022年8月1日～2024年9月30日に
当科で結腸癌に対するロボット支援下手術を受けた方及びご家族の方へ

「結腸癌に対するロボット支援下手術成績に関する後方視的研究」への
ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合外科学	特任教授	浦上 淳
研究分担者	川崎医科大学総合外科学	准教授	高岡 宗徳
	川崎医科大学総合外科学	講師	石田 尚正
	川崎医科大学総合外科学	臨床助教	赤木 晃久
	川崎医科大学総合医療センター	外科医師	浦野 貴至

1. 研究の概要

現在、結腸癌に対する手術は開腹手術、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術があります。当科では2022年8月にロボット支援下手術を導入しました。当科で行ったロボット支援下結腸手術について、手術時間、術後合併症と、臨床病理学的な検討をおこない、手術成績を明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年8月1日～2024年9月30日に当科で結腸癌に対してロボット支援下結腸手術を受けた患者を対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年10月31日

3) 研究方法

患者背景（年齢、性別、術前併存疾患、臨床検査値、既往歴）、手術時間、術後合併症、出血量、輸血量、在院日数、術前化学療法、術前CT所見、腫瘍マーカー、病理検査所見、ステージ、術後化学療法、予後（生死、生存期間、再発の有無、再発部位、死亡原因）について診療録から情報収集を行う。それぞれの評価項目を集計し平均値、頻度、割合などを算出する。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、術前化学療法、術前CT所見、腫瘍マーカー、術式、手術時間、出血量、病理検査所見、ステージ、術後合併症、在院日数、術後化学療法、再発形式、生存期間等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 外科

氏名：浦上 淳

電話：086-225-2111 内線 48036（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-224-6821

E-mail：aurakami@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。